

ものづくりを  
通して深まる絆  
もつと深まる思い出  
増える思い

2023年  
**7月29日** SAT  
11:30 ~ 16:00

**場所** ラポール秦荘 はつらつドーム

**駐車場** P1 はつらつドーム西側駐車場  
P2 愛荘町役場 秦荘庁舎 東側駐車場

※P1は、12時まで他イベントで使用されていますので、順次ご案内致します。  
※P2からのご来場は、シャトルバスをご利用ください。  
※プール駐車場はご利用頂けません。

# 夏まつり

第23回 いちご倶楽部

今年もやります!  
大人気  
カブトムシ  
掴み体験

本年度は  
新会場にて  
堂々開催!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
SDGs 古着  
コーナーも  
あるよ!

# にぎわい

【発行元】 第221号  
株式会社 大兼工務店 いちご倶楽部  
0748-42-1151

◆ topics ◆  
第23回 夏まつりのご案内  
第46回 安全大会開催  
キラリまちの人 杉浦 隆支様  
チャンプレーズ守山6丁目  
Dタイム  
Information

**遊** スーパーボールすくい  
木製パチンコ  
ヨーヨーつり 他

**食** キッチンカー出店  
焼きそば  
かき氷 他

**作** ミニ新居作り体験  
木工ワークショップ 他

**観** 歌うどうつづえんさん  
大道芸人丸ちえろさん  
近江湖東太鼓さん  
Dan's Studio BANさん

**Access**

## 第46回 安全大会開催

令和5年  
6月1日(木)

### 能登川コミュニティセンター

当日は株式会社大兼工務店の工事に、日頃からご協力を頂いているパートナー企業様201名をはじめ、大兼工務店社員46名、計247名の関係者が出席致しました。

安全パトロールの事業報告や安全活動に寄与された方々への安全大会表彰授与が行われ、令和5年度は「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災害職場」をスローガンを基に、全員が今後の安全への誓いを新たに強く心に念じました。

来賓として、東近江労働基準監督署署長、足立育弘様から御祝辞を賜りました。今の建設業界の安全関係の状況などわかりやすく、丁寧にお話し頂きました。

そして講演では、北名古屋市を拠点に高速道路の建設をされている橋梁技研 株式会社 代表取締役 杉本博樹氏をお迎えし、「誇れ建設業！仕事の意義」と題して建設業の今後の展望についてご講和頂きました。また、実際に現場で起こった事故についてお話し下さり、無災害の大切さを改めて痛感する機会となりました。

安全大会を通して、パートナー企業様と安全に対する意識を高め、より一層力を合わせ、労働災害ゼロを目指して参ります。



# キラリ まちの人

杉浦 隆支さん



今回は東近江市山路町(旧能登川町)にお住いの地域インフルエンサー、杉浦隆支さんをご紹介します。

桜の咲き乱れる猪子山の麓の公園周辺が、竹や草が伐採されてきれいになっていいます。横穴式石室の古墳の石組みも露わになり、自然と歴史を感じる場所に整備されました。この『猪子山森林再生プロジェクト』はH19年から能登川南小学校のエコスクール事業として、県立八日市南高校花緑デザイン科の生徒さんと能登川地区まちづくり協議会の共同事業として始まりました。お世話役として関わられる杉浦さんの役割の一つが、毎月一回の下草刈りです。一人で3時間位かかりますが、3年も続けると竹が生えなくなるんです。最初の頃に比べるとずいぶん楽になりましたけど」と話されます。お陰で児童や生徒は、この場所を拠点として「見つけて考える」環境学習に励めるのです。数多くの地域活性化活動に参加される杉浦さんは、能登川地区まちづくり協議会の広報誌『ホップステップ』の『わ』の創刊から携わってかれ、H25年に能登川博物館で開催された企画展『なにこれ! 東近江珍百景』を機会に、スマートフォンで写真を撮り始められました。「鉄道写真家の中村さんの写真に感動し、水鏡の撮影方法を教えてもらったんです。それからすっかりハマってしまい、時間を見つけては撮っています。一眼



レフでの撮影も考えましたが、何時でも、どこでも、手軽に撮れるスマホにしています。手振れ補正がなくても、杉浦さんは「身近にひそむ絶景」を見つけては写真を撮り続けています。なかでも、猪子山からの風景は定番の写真。四季折々の琵琶湖を望む伊庭内湖と田園風景、その夕暮れ時にシャッターを押し続けられます。5月中旬から多くの写真家が、水の張られた田んぼに映る夕陽の写真を撮りに上がってこられるとか。また、9月下旬に観察できる「タカの渡り」では、山頂付近は双眼鏡やカメラを持った大勢の愛好家でご覧いただけます。「田んぼに水が張られて、琵琶湖と伊庭内湖、空が夕焼けでオレンジ色になる風景は私も好きなんです。タカの渡りは1日で3000羽近くの鷹が渡る日もあり、望遠の一眼レフでなければ小さすぎてスマホではとても無理ですから、観察会の様子も撮っています」と笑われます。この様に



広報紙の撮影のために出向かれる場合もありますが、仕事の道すがらや地域おこし活動の中で撮られることもありま。スタッフとして活動されているライティングベルの風景。地元神社の春季大祭に奉納される「噴出し」と呼ばれる手提げ花火。季節の花々や紅葉。ほとんどが自宅から10km周辺の風景です。杉浦さんは「日常の何気ない風景が時折見せる表情やカメラの撮り方ですごい風景、別物の風景になるんですよ。狙っても撮れない、その一瞬のチャンスに粋を感じて撮っています」と話されます。今までにインスタグラムやフェイスブックに投稿した写真は数知れず。まちづくり協議会の広報誌は勿論、市内で開催されたイベントのポスターにも使用され、滋賀県が作成した朝ドラのスカレットの特集号や東近江市主催のモモクロのコンサートにも複数カットの写真が使われてきたことが、何より嬉しかったそうです。結構ミーハーなんです。



今後の活動をお尋ねすると「東近江市内、特に能登川地区の伝統や文化を残しながらの街づくり活動や、地域をより良く知ってもらえるための観光ボランティアガイドなど、多くの人にこの街の良さを伝えていきたいですね。写真展も一回くらいならやってもいいのかなあ」と笑われます。杉浦さんの益々のご活躍をお祈りします。

## ありがとうマンが贈る ~心に残るありがとう~話

第178章 タイム

先日、涙がじわじわと溢れたエピソードに出会うことができました。素直に受容できる反面、綺麗ごとだ!とも言ってしまえば終わってしまうこともできる・・・でも、これが心の学びであると感じました。そんなエピソードを、皆さんにご紹介させていただきます。では、始まり、始まり・・・

「兄として、父として」

最近、私は友人の娘の結婚式に参加しました。その友人とは高校時代からの長い付き合いで、その娘のこともよく知っています。彼女の結婚式の案内を受けて私は喜んで出席することにしました。

しかし、その娘という存在は実は友人の妹でした。彼女が妹でなく娘として育てられた理由は、友人が21歳の時に両親が事故で他界したからです。

家族は兄と妹の二人だけになり、友人は一人の親として、妹のために育てることが最善だと考えたのです。当時、友人からその事情を聞かされたとき、私は強く反対しました。確かに妹のことを思うと、その選択が最善かもしれません。しかし、友人自身はどうなるのでしょうか? 21歳で一人の子を育てるといえるのは、あまりにも無理があると感じました。

母親の存在を尋ねられたら、どう答えるのでしょうか? また、戸籍を見られた時、事実がばれてしまうことは避けられないのではないのでしょうか?

これら疑問を友人にぶつけたとき、彼は自身の両親が他界し、つらい時期に妹の笑顔が唯一の救いだったと答えました。そして、この子が無事に育ってくれるのなら、自分の幸せは二の次でもいいと言いました。それを聞いた私は、何も言わずに涙が流れました。

ただ、「辛い道だと思っけど、頑張れ」と伝えることしかできませんでした。それから、友人は家事、仕事、妹の育児と、全力で生活をしていました。私も何か手伝えることがないかとたびたび尋ねました。話を聞いてあげることしかできませんでした。

私の知る限り、妹が友人が父親ではなく兄だという事実を知っているような様子はありませんでした。そして、その妹の結婚式の日がやってきました。新郎の会社の人々が集まり、友人が感動的なスピーチをし、式は順調に進行しました。そして、新婦が父への手紙を読み始めました。その中には、「お父さん、今まで本当にありがとう」という言葉がありました。彼女は感極まって涙を流しながら読んでいました。しかし、突然彼女が読み進めなくなり、首を横に振り始めました。周囲は何が起こったのか理解できず、ざわつき始めました。次の瞬間、彼女が「お兄ちゃん」と言いました。その言葉を聞いて、私の心臓が飛び出るかと思えました。彼女は、自分が娘ではなく妹だということを知っていたのです。高校生の時に友人の日記を見つけて、その時に真実を知ったようでした。彼女は涙を流しながら友人に感謝の言葉を述べ、そして謝罪しました。彼女が言うには、自分の存在が兄の人生を狂わせたからです。

友人は彼女に対し、「それは違う。お前がこんなに大きく育ってくれた。それだけで俺には十分だ」と答えました。その言葉を聞きながら、私も涙が止まりませんでした。拍手が湧き起こり、結婚式は平然と進行し、無事に終わりました。

その後、私は友人と一緒に居酒屋に行き、酒を飲みながら話をしました。話をしながら友人は妹のことを思い出して、涙を流していました。

その時、私は友人に向かって「お疲れ様」と言いました。友人は笑顔で「いえいえ」と答え、泣きながら話しました。

そして、友人が今一番楽しみにしているのは、孫が生まれることだと話しました。

兄として、父となり、自分のことは二の次にできるか・・・このように想い実践できるエネルギーは何なのか・・・とても深く考えさせられました。私ならできるか!と問われたら、局面にならないと分からないというのが答えかもしれないが、そうでありたい!と思う自分があることに、使命感たるものがあるのではと感じました。深い学びをいただきました!

by ありがとうマン

だいかねの家

利便性抜群! 人気のエリア

シャン・フレイズ守山6丁目

### 好評!! 土地分譲中

学校・病院・スーパー・商業施設が徒歩圏に揃う好立地! 緑あふれる公園も充実の閑静な住環境は子育てファミリーに最適です

全11区画	号地	面積	販売価格
	1号地	169.29㎡ (51.21坪)	2,308万円
	4号地	184.01㎡ (55.66坪)	2,395万円
	6号地	169.22㎡ (51.21坪)	2,253万円
	7号地	169.51㎡ (51.27坪)	2,179万円
	8号地		商談中
	9号地	169.53㎡ (51.28坪)	2,205万円

全11区画

1号地: 全11区画のうち1区画。全11区画のうち1区画。全11区画のうち1区画。

2号地: 全11区画のうち2区画。全11区画のうち2区画。全11区画のうち2区画。

3号地: 全11区画のうち3区画。全11区画のうち3区画。全11区画のうち3区画。

Contact

お電話 0120-15-4939

お問合せフォーム

LEE My star

LEEはオシャレと暮らしを楽しむ女性を応援するライフスタイルマガジン。このコロナ禍において、ステイホームにも負けず、日々の暮らしを楽しむ読者たち。"クオリティ・オブ・ライフ"の向上を目指す彼女たちの興味にオールジャンルで答えます。そんなLEEの〜創るも暮らすも楽しい家づくり〜に大兼工務店が滋賀県代表で取り上げられました!

Instagram フォローする お願いします。

だいかねの家

だいかねの家

YouTube チャンネル登録 お願いします。

だいかねの家\_大兼工務店